

第1回ごみ処理研究部会（第3部会）

招集年月日	平成21年10月1日（木）					
招集場所	南部総合福祉センター 1階ホール					
開会時間	午後2時05分					
閉会時間	午後4時15分					
出席委員 及び 欠席委員 〔出席委員12名〕 〔欠席委員3名〕	委員 番号	氏 名	出席 の 別	委員 番号	氏 名	出席 の 別
	1	新垣行則	○	9	久場川勝	○
	2	赤嶺健	×	10	新崎政利	○
	3	城間光秀	○	11	久手堅永昇	○
	4	諸見里俊一	×	12	浦崎みゆき	○
	5	上原啓	○	13	比嘉笑津子	○
	6	喜屋武政男	○	14	吉田照子	○
	7	金城正弘	○	15	比嘉昭子	○
	8	港川孟春	×			
会議に出席した 事務局の職・氏名	室 長	山城匡				
	係 長	知念正樹				
	主 査	國場篤志				
	広 報	山城直吉				
その他会議に 出席した者						
会議に付した事件 及び議決内容	別紙のとおり					

第1回ごみ処理研究部会（第3部会）

会 議 録

次 第

1. 委嘱状交付
2. 会長挨拶（サザンクリーンセンター推進協議会 会長 古堅國雄）
3. 部会長及び副部会長の選出について
○部会長に新崎政利委員（糸満市）、副部会長に城間光秀委員（南城市）が選出された。
4. これまでの取り組みについて・・・資料－1（事務局より説明）
5. 南部のごみ処理の現状・・・・・・・・資料－2（ " ）
6. 意見交換
 - ・倉浜との契約問題はどうか。（住民委員）
 - ・ゼロエミッションに向けての方針を決める取り組みをするのか。（与那原町）
 - ・ごみ減量化は33年稼働の施設建設の流れに逆行するのではないか。将来統合して発電なり売電なりしてCO2削減なら分かる。今のごみ量は180t程で、更にごみを減らせば発電が出来なくなる。200tないと発電は出来ない。発電できない施設を造るなら、国からの補助金も下りない。（東部清掃）
 - ・数値目標は中間確認（24年度）までどの位減量できるのかを見て、その後また27年までの数値を決めるのか、それとも施設規模決定に向けて減量化していくのか。（住民委員）
 - ・会長、構成市町長は焼却残渣、ばいじんの現物を見たことがあるか。（西原町）
 - ・行動計画を決定しても、地域に持ち帰ってどのようにごみ減量化の行動をしたらいいのか。（住民委員）
 - ・構成市町の一般廃棄物処理基本計画があると思うが、その数値を拾って検討したことがあるか。（西原町）
7. その他
 - ・次回会議については決まり次第事務局より通知する